

磐城時報

日刊 五月十日
編輯人 岡田弘成
印刷所 磐城時報印刷所
發行所 磐城時報發行所
電話 一四四
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一十四字 一月一元 一月一元五角 一月二元
印刷（日曜、祭日）休刊

石城の暴風雨被害 目もあてられぬ惨状

各河川の増水著しく 損害廣汎莫大を算す

十四日朝から降り出した雨は正し橋梁の流失、道路、堤防の決壊から風加はり雨量も増加し、被害多数で附近家は全部床上に暴風雨となり午後五時頃から更下夫々浸水し水田に置いてあつたに激しく夜を徹して降り続きた稲束の流失は想像以上の多数五日未明雨のみが降り止んだがに上であらうと郡農會及び平小名濱測候所の調査による別殺物検査所方面で憂慮してゐる項の如く、本年に於ける最も一例をあげれば内郷村御殿部落激しい暴風雨であつた。之がたのみで稲束の流失五千把（約十石）城地方に於ける各河川は何五石）であるから各方面の被害も汎濫し十五日午前十時頃現は推して知るべき状態である。在平土木監督所の調査によると平土木監督所並に平警察署を始夏井川増水二十二尺、仁井田川各警察署では總動員で災害の十一尺、好間川十五尺、鮫川十調査を進めてゐるが、土木關係七尺五寸、藤原川十二尺、滑津の被害のみで二十萬圓は突破川十一尺で、流域一帯泥海と化するものと見られてゐる。

漁船數隻行衛不明となり 漁夫六十餘名生死不明

豊間大敷網の損害四萬餘圓 甚大な海岸方面の被害

暴風雨の襲來で艇耳に水の被害甚多下の運送船輿丸は船體に破つたのは石城郡海岸方面では故障がなかつたが積載した荷小名濱町に於ては出漁中の漁船物は吹き飛ばされ或ひは浸水等の多数あつたが何れも消息不明とため被害甚大で商港工事に使用なつたが沖合に於て遭難したため大船二隻は乗組員數名しいので家族の者は憂慮してゐる乗せたまま、沖に流され行衛不る。小名濱築港内に繋留中の千明となつた。

豊間村に於ける被害も甚だしく築港事務所は風のため吹き飛ばされ出漁中であつた十四人乗りの發した等目も當てられぬ惨状を早動機船四隻は消息不明となり之亦沖合に於て遭難したらしい約機船一隻沈没した外船體の破損六十名の家族のものは海岸に現出漁中消息を絶つたもの多数ではれ沖を眺めて悲嘆の涙にこれ他海岸同様被害を蒙つてゐる。

風浪が激しく 磐城丸出帆不能

漁船搜索準備を整へ 浪の靜まるを待つ

海岩方面の被害は別項の如く出漁道方面に於ける被害は赤井驛漁中の漁船多數行衛不明になつたので水産試験場磐城丸は近海五日朝から不通となつたが、平搜索のため出帆すべく準備を整へたが、築港出口の浪が依然として高いため十五日正午まで出帆し兼ねてゐる。

石城海岸の潮 遂に人家を脅かす

近來にない暴風雨 小名濱測候所發表

今回の暴風雨については小名濱測候所の發表は次の如くである十三日朝流球那爾南西に起つた颱風は十四日朝四國南方に移動し同日午後六時には伊豆大島西方に進み低氣壓は七百

發動機船沈没

四倉海岸に陸上上げてあつた馬船六艘は十四日夜激浪のため流失した外鈴木助治、鈴木伊勢松所有の發動機船は海岸に打ち上げられ船體大破した。

格納庫倒壊

平第一小学校内の飛行格納庫は十四日夜暴風のため倒壊した。

土木監督所内被害状況

平土木監督所内に於ける暴風雨の被害は目下調査中であるが、十五日正午まで判明したものは左の如く、その他各河川護岸の決壊、道路、橋梁の損害莫大の見込みである。

- ▲江名町折戸土留工事二百米欠損損害一萬二千圓
- ▲江名永崎橋六間流失三千圓
- ▲小名濱築港内起重機船沈没
- ▲小名濱町古港護岸欠損二千五百圓
- ▲夏井川六十枚橋上部流失二百五十圓
- ▲湯本町湯川が藤原川に注ぐ箇所の護岸工事目下着工中の處全部流失する。

出漁中の漁夫六十名 或ひは全部溺死か

慘憺たる豊間村

（後報）被害の最も多かつた四家當松四氏所有の沖曳網漁船豊間村に於てはその後の報告には出漁中不明となり乗組員よれば、豊間村の漁船四隻、大六十余名の安否氣遣はれてゐる。取網の漁船十二艘、陸上上げて大敷網は復活の見込みなきものゝた五艘何れも全滅で、更に遠察せられてゐる。

乗組員十七名溺死 船のみ高久に漂着

秋刀魚船寶來丸遭難

久之濱大字江の網紋羽庄太郎氏庄太郎外十六名全部発見されず所有秋刀魚船寶來丸は出漁中暴風雨死したものと見られてゐる。風雨に襲はれたが、十五日朝高がため四倉町水難救濟會及び久村上高久海岸に船のみが打ち消防組員六十餘名は十五日正午上げられ船體が大破してゐるの現場に急行した。

鈴木清八氏所有船 新舞子海岸に漂着

四名助かり七名溺死

江名町では出漁中の漁船九艘で、四名の生命のみ幸うしては石城海岸沖合に現れ漸次北々東に進みつ、ある最低氣壓有底曳網漁船は十五日朝大浦村と新舞子海岸に打ち上げられ乗組員十一名中一名が上陸し木村清一治氏宅を訪れ救助方を願ひ出で

四倉濱で 六隻流さる

江名町では出漁中の漁船九艘で、四名の生命のみ幸うしては石城海岸沖合に現れ漸次北々東に進みつ、ある最低氣壓有底曳網漁船は十五日朝大浦村と新舞子海岸に打ち上げられ乗組員十一名中一名が上陸し木村清一治氏宅を訪れ救助方を願ひ出で

各地の被害状況

- ▲上小川村縣道三十間破損、浸水家屋多数
- ▲玉川村矢田川藤原川の氾濫のため人家浸水あり電柱數十本倒壊
- ▲内郷村磐城炭礦長屋三十九戸屋根吹き飛ばさる損害七百圓、浸水三十五戸
- ▲湯本町浸水家屋二百戸、入山炭礦長屋破損無算、浸水家屋百六十餘戸
- ▲内郷村御殿地内電柱二本倒壊
- ▲浸水床上敷戸床下無算
- ▲滑津川氾濫し稲束流失を拾ふため消防手出動
- ▲磐崎村藤原川流域下湯長谷、西郷、下船尾地内稲流失無算床下浸水二十戸

生命保險の相談所

○保険料立替 ○證券擔保貸付 ○失効解約請求手續と同時に受取金立替 ○復活手續き保険料立替、保険料の拂込の期間は六十日後二ヶ年経過するに解約返戻金一厘も取れなく時効となりますから早く手続きが必要です。

當所は會社と契約者との中間に立ち最も迅速に、最も確實に、最も善良なる相談相手として皆様の御用命を期待して居ります。

石城郡鹿島村(江尻中方)

秋山保險相談所支店

吸入用酸素 100% 純度 99%

モノサシ
マス
ハカリ

体温器
寒暖計

秤ノ取緒・錘系・修覆致シマス

關内藥局

電話四〇番

10日検査機

体温計の検査日です
お宅の体温計は?

◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡計量器

指定販賣人 西村屋藥局

電話三番

秘傳腫物湯

主一 面癩 疥癬 乳の腫れ 指のはれ 林巴腺の腫れ 耳鼻のおでき 骨膜炎 筋炎 腫れ物手術の前後 効一等よし

◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り腫れ痕を残さず美容上最適の治療劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢

特約店 平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店
植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店
湯本町 岩瀬屋藥店

腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂

貨切御用命

セヒ 三井自動車部へ
電話六八五番

乗合 好間・合戸・澤渡方面行

家庭染料

品質 本品 家庭染料

節約 費用

みやぶ染料

平町一丁目 特約店 大平や藥店
電話四六二番

油と味噌

山崎合名會社
山崎與三郎

電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

心安積蓄 利低通融

三平無盡

許免臣大藏大

社會盡無用信本湯

番七巴話電

專科 腸胃

腸十二指腸病 胃性病

婦人病 皮膚病

松村村 腸胃病科醫院
(七〇一話電) 町南町平

計先臣大藏大

磐城無盡

湯本湯

內科 小兒科 (入院應需)

花柳病科

藤沼醫院

平町 紺屋町
電話 平四〇七番

內科 一般科

醫學博士 難波 睦

難波醫院

平町大町新川端
電話(五〇二番)

外科 一般外科 內臟外科
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

專門 內科 一般

〔內科ハ何デモ診療致マス〕
〔呼吸器病バカリデアアリマセン〕

平町南町六五改(電話一八一番)

川井內科診療所

醫學士 川井 重子
女醫 川井 安子

滋養、強壯劑として愈々好評

偉大なる藥酒 栗守酒

朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は休眠の助力

栗守酒特約店 大平屋藥店

代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話四六二番)